

さいとう えみ
齋藤 絵美さん

帯広日産自動車株式会社 西16条店 サービス課(テクニカルアドバイザー)

1975年生まれ、帯広市出身。短大を卒業後、帯広に戻り同社に就職。女性初のテクニカルアドバイザーとして5年勤務していたが、結婚、出産を機に退職。2015年、縁あって復職、再びテクニカルアドバイザーに就く。1男の母。



更なる成長を目指して！

きっかけ

高校を卒業後、旭川の短大へ進学。しかし、やっぱり十勝・帯広が好きだったので、就職するときは帯広に帰ろうと決めていました。就職を考えはじめた頃、接客の仕事に就きたいと思っていました。接客の仕事も色々ありますが、飲食は時間が不規則のイメージがあったのと、短大生だったときに自動車販売フェアのアルバイトを経験したことも多少影響していると思いますが、お給料も安定していて、福利厚生もしっかりしていそうだったので、自動車ディーラーにしよう決めました。どうして帯広日産だったのかというと、私の父がずっと日産の車に乗っていたんです。上手いことまとまりましたが、ヨイショしている訳ではありません(笑)

苦労

車のことは全然分からないで入社したので、やはり大変でした。テクニカルアドバイザーという仕事はサービスの受付ですが、修理や点検などの受付、お客様への説明、見積りなどの提示、精算まで全てを担当していました。そのため、車のことが分からなければお客様に説明が出来ないので、まずはそこから勉強でした。整備士と一緒に受ける1週間程度の工場研修では、車をバラバラにして部品を学び、覚えるために自分専用のノートを作るなど接客以前のところからのスタートでした。とにかくお客様に迷惑をかけないことを一番に心がけ、毎日工場との行き来で走り回っていましたが、上手くいかず整備士の先輩に怒られ泣いてしまう日もありました。

満足度

再び入社するにあたり結構ブランクもあったので迷いましたが、復帰して良かったです。以前からそうですが、人間関係がすごく良い会社なので働きやすい環境なんです。女性でも男性でも頑張ったら頑張った分をきちんと評価してくれます。女性が長く勤めている職場でもありますので、最初に勤めていたときから知っている方もいますし、みんなも産休を取りながら長く働いていますので、チームワークも良く、本当に働きやすいです。

また、テクニカルアドバイザーとしては、お客様に「ありがとう」ですとか「助かったよ」などと言っていただけると、やはりうれしいですし、やりがいに繋がっていると思います。

これから

復職して気付いたことは、女性のお客様が非常に多くなったということです。整備内容などご説明するときも、女性同士なので相談しやすいと感じていただけるように頑張りたいです。

また、自分の仕事に精一杯取り組むということは、今も昔も変わりありません。まだまだ勉強することは多いですが、これからは更に店舗全体に目配り、気配りをして、色々なことに対して気を遣っていけるようになりたいと思っています。それぞれの担当部署はありますが、その枠を超えたチームワークを発揮することで、お客様にとってより過ごしやすい環境をご提供していきたいと思っています。

とにかく“諦めるな！”ということかなと思っています。努力を惜しまず、どうすれば上手くいくのか分析して、何事も最後までやり抜くことが大切。